

旧内田家住宅の保存と活用

練馬区立石神井公園ふるさと文化館では、旧内田家住宅を良好な状態で後世に伝えていくため、職員による目視での巡回点検を行っています。また、開館時間中にはサポーター（ボランティア）が常駐しています。サポーターへは、旧内田家住宅の歴史や維持管理に関する学習会を行い、来館者との交流活動に生かしていただいています。常駐しているサポーターならではの気づきは、旧内田家住宅保存の大切な支えとなっています。

旧内田家住宅は自然環境が豊かな公園内にあるため、文化財害虫の侵入・発生状況を把握するモニタリング調査を行っています。害虫駆除や、茅葺屋根の保存のために火気を持ち込まずに煙による燻蒸を行うシステム「スーパーケムラー」の実施なども行い、保存に努めています。

移築後10年を経た令和元（2019）年度には、移築復元に携わった専門家に依頼し、長期的な修繕計画を立てました。劣化の進行を把握し、今後の劣化予測を立て、優先順位が高い場所から修繕を行うことで、よりよい状態で後世へ伝えていくことができることからです。この計画に沿って、右のように修繕工事を行い、予防的な対策や劣化が予想される場所の経過観察を行っています。

また、旧内田家住宅では、正月飾りや小正月のまゆだま繭玉飾り、七夕に行う七夕飾り・「ちがや馬」、十五夜飾り、十三夜飾りなど、練馬区域で近年まで受け継がれてきた年中行事の再現を行っています。

引き続き、旧内田家住宅の保存と活用に努めて参ります。

修繕計画に基づいた 旧内田家住宅に関する主な修繕工事

令和元年度	・北側と西側の下見板の補修 ・水平ブレース楔の締固め ・南側戸袋の補修 ・虫穴の補修 ・建具の調整 ・かまど煙突の補修 ・玄関灯の格子修理
令和2年度	・雨水埋設管の取付け ・北側の樋の付け替え ・防風対策用雨戸の設置 ・雨落ちの砂利追加
令和3年度	・板の間の床塗装 ・外壁下見板の塗装（移築時、増築部分） ・北側屋根の差茅
令和4年度	・外部下見板の再塗装



サポーターと職員で行う
毎年恒例の古民家大掃除
令和3（2021）年12月



北側屋根の角屋と接する部分の
差茅工事
令和4（2022）年3月



七夕飾りの様子
令和5（2023）年7月